

## 第8回 相原駅東口まちづくり検討会 会議要旨

場所：堺市民センター ホール

日時：2015年9月30日（水曜日） 19時00分～20時30分

出席者：地権者等：15名

町田市：地区街づくり課 平本課長、望月担当課長、加藤係長、  
秋葉、船岡

道路整備課 北原係長、市川担当係長、高橋主任

建設総務課 日比野係長

コンサルタント：(株)住宅・都市問題研究所 平井、小倉

### <次第>

#### 1. 議事

- (1) 開会
- (2) アクセス路の地権者ヒアリング状況と今後の予定について
- (3) 意見交換
- (4) 閉会

### <配布資料>

資料 相原駅東口アクセス路検討ルート

#### 1. 議事

##### (1) 開会

お忙しいなか出席いただきありがとうございます。今回は東口のアクセス路について、アンケート調査の結果を報告させていただき、皆様と議論させていただきました。

今回は、アクセス路案の沿道地権者の方々に実施した個別ヒアリングの状況と、今後の進め方についてご報告させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

## (2) アクセス路の地権者ヒアリング状況と今後の予定について

資料で示している2つのルートに沿道地権者の方々に、個別でヒアリングを実施させていただきました。ほとんどの地権者の方とお話できました。

全面的に協力する人もいれば、条件付きで協力する人もいて、建設的な意見を多数いただいています。

その中で、どれだけの土地が取られるのかという意見を数多くいただいています。今後は皆様の土地を測量させていただき、より具体的な内容に進みたいと考えています。

皆様の敷地に対する測量の実施へのご協力をお願いいたします。

## (3) 意見交換

### <検討会での主なご意見>

#### アクセス路のルートについて

(意見) ⑥ルート(現在の相原駅入口交差点と同じ位置で接続する案)がアンケートとの意見では一番多かった。また、⑥ルート以外では、⑨ルートが次に多い。この点はどう考えているのか。

(市の答え) どのルートになっても、土地を提供しなければならない人とそうではない人がいます。また、町田街道の整備により土地を提供しなければならない人もいます。色々な意見がありますが、全ての意見を全部まとめることは難しいことから、ルートを少し集約させていただき、その沿道地権者の意見を順次聞いてきたところです。

(意見) 土地を取られるけれど、自分の權益を守るのではなく、相原のために何とかしようと思ひ、みんなここにきている。地権者の意見だけではなく、地域みんなの意見も聞いて決めて欲しい。町田街道の整備により、地域が分断され、郵便局や商店等も無くなり、この地区に町田街道から入れなくなる。だから道路が必要だという前提で、まちづくりを考え進めて欲しい。

(市の答え) アクセス路については、最終的にこの検討会で決めるのではなく、市が責任を持って決めさせていただきます。反対の方には、ご理解をいただけるよう丁寧に対応させていただきたいと考えています。

測量実施後は、道路の位置を想定し、その次に道路線形の検討を進めます。最終的に決まった段階で説明するのではなく、中間段階においても、この検討会でお示ししながら進めていきます。

### 相原駅入口交差点から駅に向かう道路や吉田橋への道路について

(意見) ⑥ルートの部分には重要視する必要はないのではないか。相模原市側にも新しいアンダーパスが完成し、以前と状況が変わってきている。新たに堺市民センター第2駐車場の所で橋を作るべきではないか。

(意見) それは反対だ。一番困るのは陽田地域の方から来る人だ。使う人が多い少ないの問題ではない。

(市の答え) 陽田町会への説明も行っており、町田街道の整備後も、町田街道の側道で構わないので、相原駅から吉田橋方面へ通れるようにして欲しいという意見をいただいています。

また、相模原市側の人も、相原駅を利用しています。吉田橋は幅員が狭く、すれ違いができないことから、今後も、相模原市へ検討会での意見を伝えていきます。

(意見) ⑥ルートの所や吉田橋では、車が互いに突っ込んできてよく喧嘩しているのを見ている。また、一方通行の道を直さないと救急車も入れない。

(市の答え) アクセス路以外の場所についても、拡幅すべき箇所は検討していきます。

(意見) 町田街道の整備に併せて進めてもらわないと、長い間不便な状況になるので考えて欲しい。

(市の答え) 基本的には、アクセス路の整備に併せて進めていきたいと考えています。

### アクセス路の線形等について

(意見) 市民センターへのアクセスが問題になると思うが、川沿いルートの方が線形はすっきりしている。この点は市としてどう考えているのか。

(市の答え) 線形としてみた時は、ある程度真っ直ぐに行くことができる川沿いルートの方が、クランクが多い現道ルートよりも良いという意見はごもっとだと思えます。

一方で、土地利用の観点からみると、川沿いのルートでは片側しか土地利用を行うことができませんが、現道ルートでは道路の両側で土地利用を行うことができるようになります。この地区は、現在南北方向と東西方向に道路がありますが、川沿いルートは、その道路に対して斜めに入ることになります。現道を幅員12mに拡幅・整備して、新たな土地利用が行えるようにしたいと考えています。

### アクセス路の幅員について

(意見) まちづくりを考えると、アクセス路の幅員は12mでは狭いのではないか。相模原市では自転車道の整備も進んでおり、橋本駅にリニアが来ることを考えると、それに見合うまちづくりが必要ではないか。また、

この地区は東京造形大学の入口であり、人に優しい道路ということで、ここだけでも見本となるようなものは作れないか。

(市の答え) 小・中学校へのヒアリングでは、歩車分離で整備して欲しいとの意見が出ています。幅員については、様々な意見をいただいておりますが、土地所有者への影響を最小限にして、歩車分離で整備できる幅員が12mだと考えています。

### **堺市民センターについて**

(意見) 西口でまちづくりの検討が進められているが、市民センターが移転する可能性はあるのか。保育園も駅に近いほど喜ばれると思う。東口でも、駅周辺にサービスゾーンとして商店も含めた形でビルを作ることも検討して欲しい。

(意見) 駅に集中させないで拡散させた方が賑わいは出るのではないか。折角良い道路ができるのだから、そこに商店もできると思う。駅前に作ると人の循環が無くなるのではないか。

(市の答え) 西口でのまちづくりは、土地を集約して新たな賑わいを創出していくことを検討しています。市民センターは設備改修を行うため、今後10年間は使用すると思います。その後どうなるかは決まっておりません。

### **町田相原郵便局について**

(意見) 大戸方面から市民センターへ入るための交差点ができると考えると、郵便局の移転が必要となる。大戸方面から市民センターや保育園に右折できるようになるのが一番良いと考えている。現在は交差点が無く、非常に危険な状態で道路を渡る人が多い。

相原の利用者のためにどのようにしたら良いか常に考えている。西口で現在新たな商業環境の形成を検討している。今の場所がお客様にとって本当に利用しやすいかという意味では非常に疑問を持っており、利用者のためには西口の方が利用しやすいのではないかという気持ちもある。

### **町田街道の整備について**

(意見) 町田街道の側道を相互通行にする検討をしているとの話だが、町田街道の計画幅員は変更するのか。

(市の答え) 町田街道の側道は幅員5mの一方通行を予定していますが、歩道の幅を狭めて幅員5.5mの相互通行とすることを東京都が検討しています。町田街道の計画幅員に変更はありません。

(意見) 自分の資産をどうするか考える必要がある。町田街道の用地取得時期は何時になるのか。

(市の答え) 東京都から明確なスケジュールは示されていませんが、現在家屋調査を東京都は進めています。この調査が終わると用地取得に関する交渉が個別に始まります。市の想定ですが、概ね5年後には相原駅入口交差点の所まで工事が進むと考えていて、それまでにはアクセス路を整備したいと考えています。

#### (4) 閉会

地権者への具体的な説明を行うために、測量を実施させていただきます。時期は、概ね年末頃から年明けを想定しています。結果がまとまり次第、この検討会でご報告させていただきます。

今回は、2016年2月10日(水曜日)を予定しております。測量の結果や、地権者とのヒアリングの進捗状況についてご報告できればと考えております。

また、用地買収等に関する資料についても、町田街道の事業を例としてご説明させていただければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上